

イメージカラーによる大分県の 観光景観の特徴

大分大学工学部建設工学科
建築 都市計画研究室
1035015 河野 亜紀

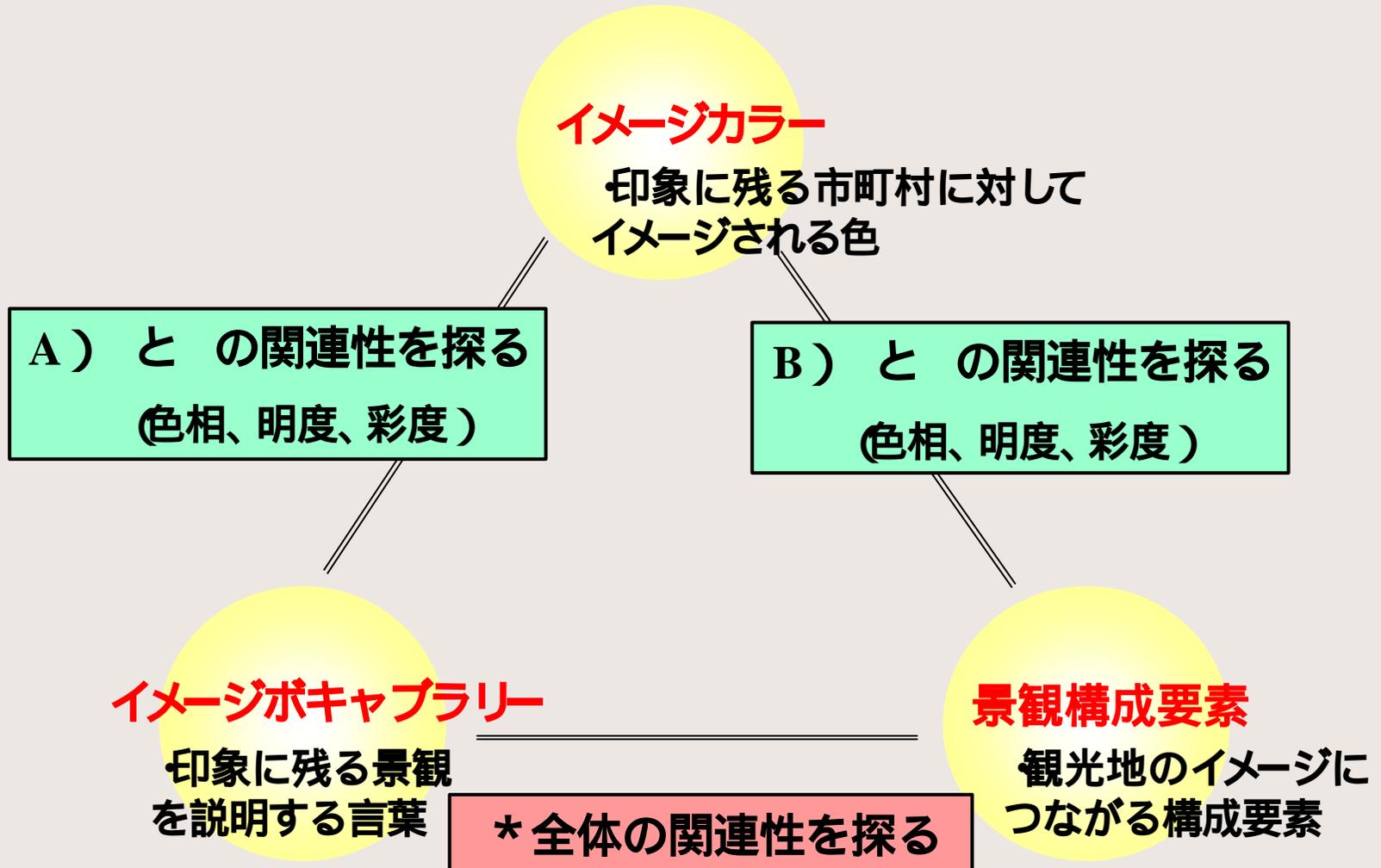
■ 研究の背景

観光地に対するイメージ は漠然としていて集約しがたい

■ 研究の目的

* 本研究では、そのイメージを例えやすいものとして『色』に着目する。そして、印象に残った市町村の**イメージカラー**を調査することで大分県における**観光景観の特徴**、また**与えられる印象**を明かにし、その一連の方法を提案することを目的とする。

■ 研究の方法



■ イメージカラー調査

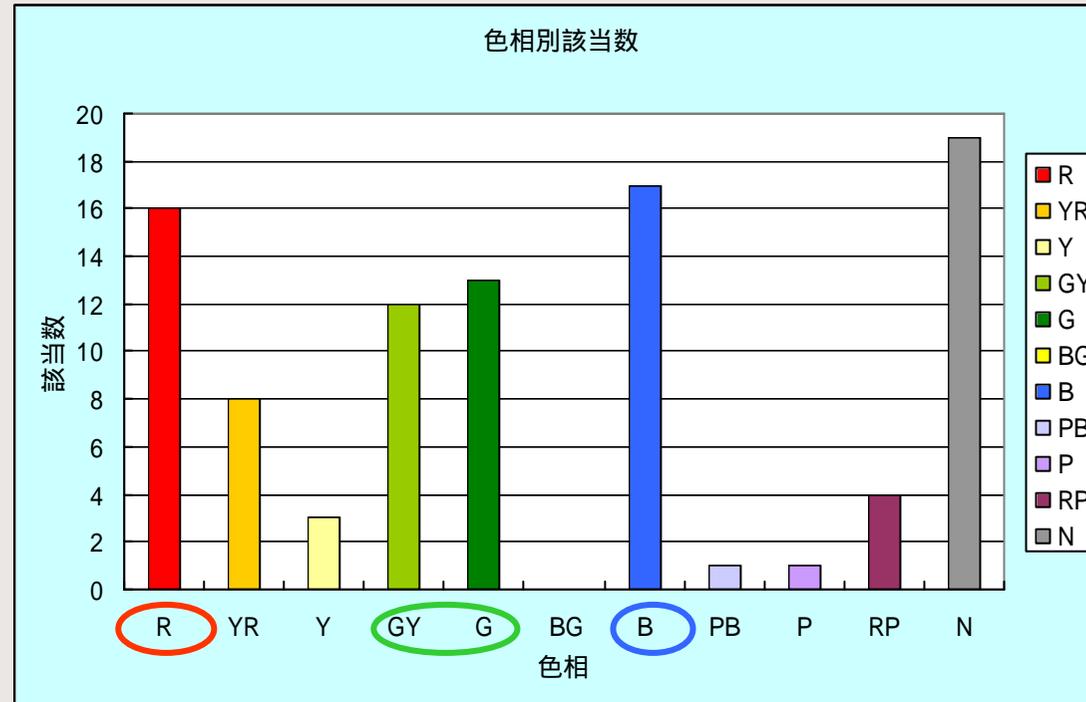
・概要・・・大分県内の印象に残った市町村に対する
イメージカラーを調査する

・被験者・・・大分県内の観光協会職員（9ヶ所 33人）

・方法・・・インタビュー形式

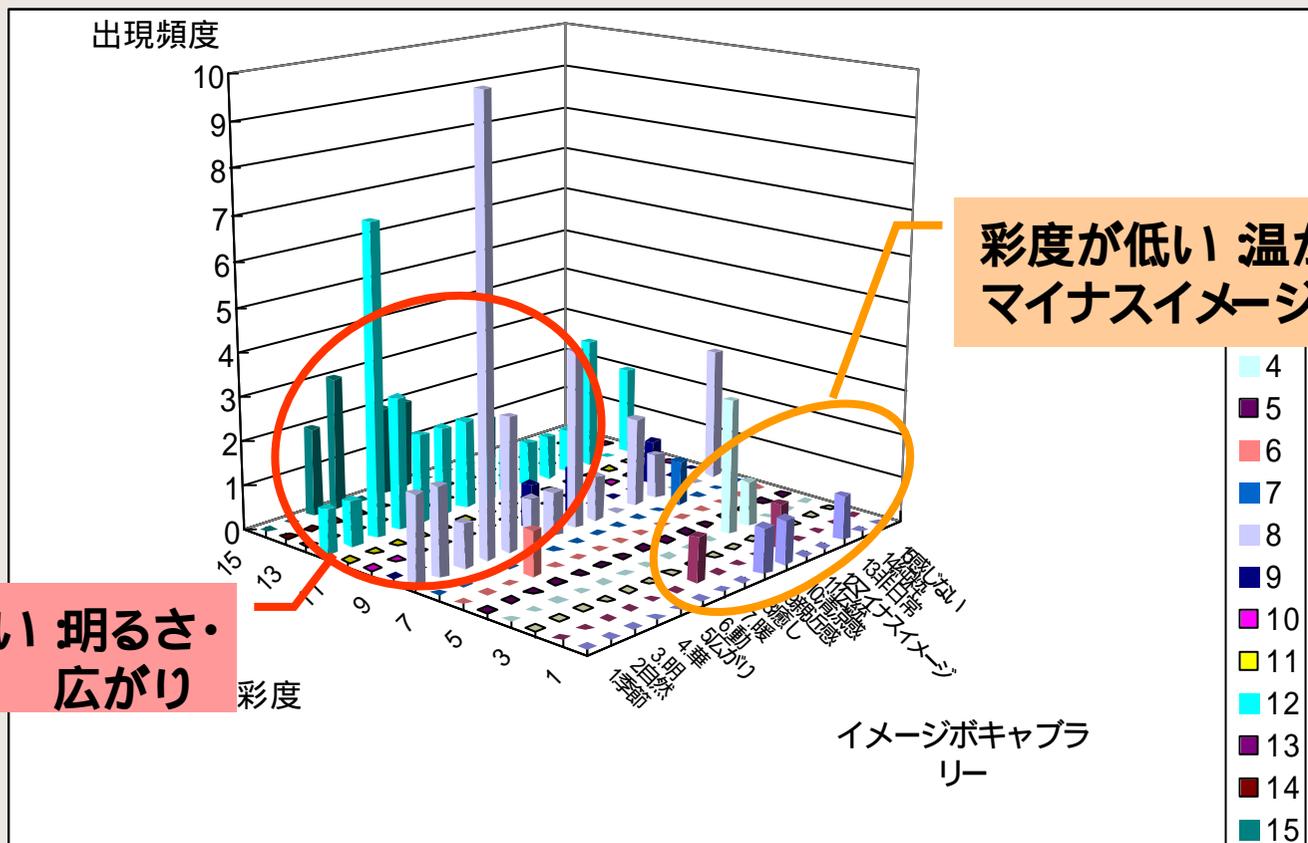
・調査項目・・・ イメージカラー
イメージボキャブラリー
景観構成要素 景観スケッチ

■ イメージカラー



挙げられている色はR、G、GY、Bが多い。

■ イメージカラーとイメージボキャブラリー



■ マンセル表色の色立体座標によるスケッチの分類

大きく**7グループ**に分類され特徴づけられる



・グループ1 無彩色

・グループ2 :P, RP (紫・ピンク)

・グループ3 :B, PB (青)

・グループ4 :G, GY (緑・黄緑)

・グループ5 :Y, YR (黄)

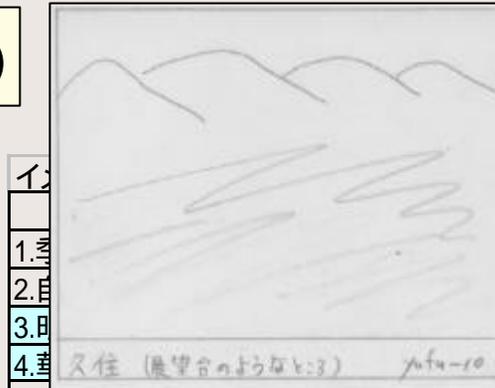
・グループ6 :R, YR (茶)

・グループ7 :R (赤)

■ マンセル表色の色立体座標によるスケッチの分類

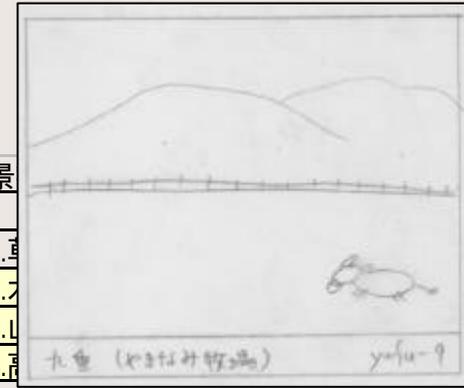
G,GY (緑・黄緑)

色相		
5R		0
10R		0
5YR		0
10YR		0
5Y		0
10Y		0
5GY		2
10GY		8
5G		7
10G		3
5BG		0
10BG		0
5B		0
10B		0
5PB		0
10PB		0
5P		0
10P		0
5RP		0
10RP		0
N		0
Total		20

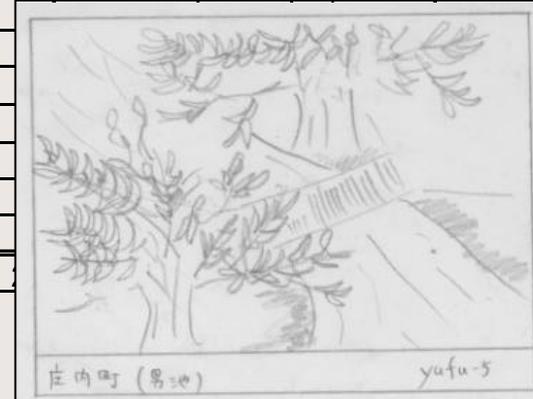


イ		
1.空		
2.水		
3.山		
4.建物		
5.広がり	1	4.166667
6.動き	2	8.333333
7.暖	1	4.166667
8.癒し	3	12.5
9.親近感		
10.清涼感		
11.伝統		
12.マイナス		
13.非日常		
14.純粹		
15.感じない		
Total		

<山 牧場などの大規模景観>



景		
1.空		
2.水		
3.山		
4.建物		
5.水	1	5
6.空	0	0
7.山	0	0
8.季節	1	5
9.親近感		0
10.清涼感	1	5
11.伝統	0	0
12.マイナス	0	0
13.非日常	0	0
14.純粹	0	0
15.感じない	0	0
Total		0
		100



<木々などの植物>

■ 総括

・イメージされやすい色としてR,GY,G,Bが挙げられる。

・明度 彩度の高いイメージカラーは、明るさや 広さ、
華やかさ」といった印象を与える。

また明度 彩度の低いイメージカラーは、癒しや 温か
み」といった印象だけでなく、マイナスイメージも与える。

・県内の観光地は大きく7つに分類され、それぞれに特徴的な
イメージボキャブラリーや景観構成要素が明らかにされた。

・G ,GYを想起させる景観は、明るさや 華やかさ」の印象
を与える山や草原などの大規模自然景観として特徴づけら
れる。